

日本気象学会

関西支部昭和51年度第2回例会案内

日本気象学会関西支部昭和51年度第2回例会を下記要領で開催するので、会員各位の多数の参加をお願いします。

記

日 時 昭和51年12月7日(火)13時~17時および

8日(水)09時~12時

場 所 高松地方気象台会議室

題 目 中小規模現象(とくに土佐沖低気圧, 大気汚染)

講演申込要領

(1) 申込み先 〒760 高松市伏石町1277-1

高松地方気象台 安井春雄宛

(2) 申込み期限 昭和51年10月15日

(3) 申込内容 講演者名・所属・題目・

講演時間・スライド使用の有無

日本気象学会

関西支部昭和51年度第1回例会 講演プログラム

日 時: 昭和51年8月10日(火) 10時~17時

場 所: 大阪管区気象台 8階会議室

(大阪市東区法円坂町6-25, 大阪合同庁舎2号館)

題 目: 大規模現象

午前の部(10時~12時) 座長・田村信之

1. 松岡 隆(奈良地方気象台)
現象の規模を考慮した天気図解析例について(20分)
2. 堀竹昌治(大阪管区気象台)
100mb循環場より見た西日本の暑夏冷夏の特性(20分)
3. 富田正夫(京都地方気象台)
暑夏年の検討——昭和50年度全国長期予報技術検討会の報告——(20分)
4. 中島暢太郎(京都大学防災研究所)
ネパール・ヒマラヤの気象(20分)
5. 山田幹夫(高松高等学校)
大気大循環の中の日本の気象の指導——気象衛星雲写真の利用(20分)

昼休み(12時~13時30分)

午後の部(13時30分~17時) 座長・山元龍三郎

6. 加藤 進(京都大学工学部)
MUレーダーによる地球大気の観測(特別講演1時間)
7. 福山 薫(京都大学理学部)
大気夜光強度変動からみた上層大気の運動(20分)
8. 川平浩二(京都大学理学部)
非断熱過程におけるプラネタリー波のエネルギー輸送(20分)
- 休憩(20分)
9. 伊藤久徳(京都大学理学部)
赤道波の励起機構について(20分)
10. 鬼頭昭雄(京都大学理学部)
気候の問題への新しいアプローチ——時間成分を展開した大気大循環スペクトルモデル(20分)
11. 岩嶋樹也(京都大学理学部)
対流圏超長波エネルギー過程の解析——非線型運動エネルギー交換量の算定——(20分)

[世話人 廣田 勇]